



地球温暖化防止活動推進員による環境講座

この日の「みやぎSDGs塾・実践コース」では、各企業・団体が実践する環境問題関連の事業に注目が集まりました。

地球温暖化を学び、発信する

みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)は、地球環境の保全に寄与することを目的とする公益財団法人です。法人内には宮城県地球温暖化防止活動推進センターが設置され、啓発活動や講師派遣などを続けています。

この日の「実践コース」では同法人の早川昌子さんが、「地球温暖化防止活動推進員」の募集について案内しました。「推進員」は地球温暖化についての啓発活動を行うボランティアで、2日間の養成研修

(無料)の受講者の中から委嘱されます。早川さんは「この研修では気象の専門家などから地球温暖化に関する基礎知識や対策について学ぶことができる。ぜひ受講して推進員になり、ご自身や所属先の取り組みとも関連付けて発信していただくと参加者に訴えました。」

若い世代の環境活動を支援

環境再生保全機構は、公害による健康被害の補償に関する事業や、環境保全活動を行う民間団体への助成事業などを行う独立行政法人です。高校生など若い世代の活動の支援にも力を入れています。

同機構の中村里美さんは、全国の高校生が研究や活動の成果を発表し合う全国ユース環境活動発表大会について説明。豚の脂で石けんを作った商品化するなどして廃棄ゼロを目指す試み(熊本県・熊本農業高校)や、放牧牛の流通・販売や家畜動物の防災・減災の取り組み(栃木県・矢板高校)など、2023年の発表の中からいくつかの事例を紹介しました。

中村さんは参加者に、「今年度の発表大会の募集が始まるので、環境活動に取り組む高校生がいたら本大会を紹介してほしい」と呼びかけました。

参加者の声

「伝わる文章」意識する

業務の中で、若手社員が書いた文章にどう助言すべきか悩むことがあります。今日の「文章の書き方講座」を聞き、短い文で読み手に伝わりやすいように、ということを意識しようと思いました。

国分東北 種田茉友さん



2023年度の全国ユース環境活動発表大会の発表者

みやぎSDGs塾って?

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラム。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンパサダー」を養成する「標準コース」と、具体的な事例の発展に向けて議論する「実践コース」の2講座が開講され、2021年から河北新報社が運営しています。

参加はこちらから!

みやぎSDGs Farm

賛同企業 募集中!!

公式HP よろしくお願います

[申し込み・問い合わせ]
河北新報社営業局
TEL / 022-211-1318
MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp

標準コース 情報を整理し、課題を設定し、考えを文章にしよう



それぞれの今後のSDGs活動について考えを伝え合う「みやぎSDGs塾・標準コース」参加者

「活動宣言」の構想を練る

この日の「みやぎSDGs塾・標準コース」参加者は、「みやぎSDGsアンパサダー」になるための最終課題「わたしのSDGs活動宣言」の執筆に向け、「文章の書き方講座」を受講。伝わりやすい文章を書くための要点などについて学びました。

その後参加者は各自、今後実践したいSDGs活動についてワークシートにまとめ、それをもちに「活動宣言」に書きたい内容を検討。4〜5人のグループにわかれ、「職場でゴミとして捨てているものを活用できる方法がないか考えたい」「マイボトルの使用を推進し、ペットボトルを削減できるしくみを作りたい」など、構想を伝え合いました。このグループワークでは、「SDGs塾」での学びを経て、他社・他者との連携によって課題解決に近づけるのでは、と思えるようになった「など」「SDGs塾」で得た成果を語る声も聞かれました。

アドバイザーとして参加したSDGsとうほく理事の高橋好郎さんは「凝縮した言葉で文章をまとめることは重要だし、難しい。自分の理念が伝わる宣言文を考えてほしい」と参加者を励ました。

第3ターム

みやぎSDGs Farm

第29号

2024年10月8日(火)

発行:河北新報社営業局
特別協力:SDGsとうほく

各団体の取り組み共有

企業独自の実践を報告

石巻市で木材生産などを営む山大の本郷友恵さんは、活発化する同社のSDGs活動について報告しました。

山大では今年7月、社内のSDGs活動を実際に運営し、発展させていくチーム「SDGs活動委員会」が発足。9月には同委員会を中心となり、社内でのフードドライブ運動(家庭で余っている食品を集め、食品を必要とする団体等に寄付する活動)を初めて実施しました。

また本郷さんは、7月に同社を訪れて工場見学や木工体験などの活動を行った子どもたちについても紹介。「熱心にメモをとる



山大の工場を見学する子どもたち

などして学ぼうとする姿が印象に残った」と感想を話しました。

日本旅行東北の櫻井寛也さんは、同社の主催で8月3・4日にララガーデン長町で実施した子ども向けイベント「見て触れて楽しむSDGs」について報告。同イベントでは宮城県内の高等学校7校の有志生徒らが、SDGsについて子どもたちに分かりやすく説明したり、楽しみながら学べるゲームやクイズを提供したりしました。

櫻井さんは「初めての試みだったが、2日間で延べ約800名の方に来場いただき、期待以上の成果があった。今回は7校のうち1校が各企画を主導する形となったが、次回以降は参加校それぞれの取り組みを生かす構成にしたい」と今後の展望を話しました。



「見て触れて楽しむSDGs! ~守ろう地球の未来を~」の会場の様子

- 第3ターム参加者(敬称略) ●
- [あすなる学院] 齋藤学 [荒町商店街振興組合] 庄子康一、伊藤悠香、駿河真樹子 [YES工房] 大森丈広 [エントワデザイン] 佐藤寛和 [オフィス塩騒] 加藤貴伸 [環境再生保全機構] [高速] 高橋篤 [国分東北] 佐藤悟、種田茉友 [スタイルズグループ] 千田佳子 [ソニーピープルソリューションズ/多賀城工場地帯連絡協議会] 大谷哲也 [タイハク] 長坂孝裕、南條世紀、玉川知樹、加賀玲 [竹鶏ファーム] 赤洲利恵 [蜂屋食品] 蜂屋和彦 [大日本印刷] 阿部巧、小泉一也、矢島迅人、阿部颯、大沼真洋 [日建リース工業] 内藤健介 [日立ソリューションズ東日本] 小岩井尚文、大塚千翔 [フクダ・アンド・パートナーズ] 加藤祐、阿部真美 [松島蒲鉾本舗] 葛西健太郎 [宮城県民共済生活協同組合] 草薙聖樹、遠藤早織、長谷朋佳、佐山道大、鈴木良太、長牛麻美 [ミライトス] 鈴木圭介 [山一地所] 原田千純、熊谷健太郎 [山大] 高橋拓宏、本郷友恵、三上明子 [WACO CREATE] 岩村和哉、岩村優香 [個人] 千葉よかこ [尚綱学院大学] 大沼晃太郎、猪野拓歩、森啓輔 [宮城大学フードサービス論研究室] 斎藤真里奈、曾根咲桜、高屋奏太、永澤美咲、由比一光 [オブザーバー] 紅色晶子、高橋好郎、高浦康有

● 賛同企業・団体・個人 ●

株式会社 日立ソリューションズ東日本

宮城県民共済

SUIKOO 大日本印刷 DNP 独立行政法人 環境再生保全機構 尚綱学院大学 日本製紙株式会社 みやぎ生協 山一地所

yamadai あすなる学院 エントワデザイン 株式会社 高速 国分東北 STYLES GROUP 竹鶏ファーム 日建リース工業株式会社

蜂屋食品 F&P 松島 株式会社 松島蒲鉾本舗 ミライトス株式会社 荒町商店街振興組合 YES工房 オフィス塩騒 多賀城工場地帯連絡協議会 WACO CREATE 千葉よかこ

特別協力 SDGsとうほく 協力 宮城県 JICA東北 尚綱学院大学SDGsセンター 宮城大学フードサービス論研究室